

博多座

文楽公演

令和7年

11月8日(土)

11時30分開演 / 15時30分開演

11月9日(日)

11時30分開演

ご観劇料(税込)

A 席 / 7,500円

特B 席 / 6,000円

B 席 / 3,500円



解説 文楽へようこそ

一、伊賀越道中双六 沼津の段

二、日高川入相花王 渡し場の段



博多座

博多座 文楽公演

解説 文楽へようこそ

豊竹靖太夫

一、伊賀越道中双六の段

前 豊竹藤太夫

ツレ 鶴澤燕三

鶴澤燕二

切 竹本千歳太夫

豊澤富助

胡弓 鶴澤清允

〔人形役割〕

親 平作 吉田和生

呉服屋十兵衛 吉田玉次

荷持安兵衛 桐竹亀次

娘お米(瀬川) 吉田蓑二郎

池添孫八 吉田玉勢

二、日高川入相花王渡し場の段

〔人形役割〕

清姫 竹本織太夫

船頭 豊竹睦太夫

豊竹靖太夫

竹本織栄太夫

野澤勝平

鶴澤清丈

鶴澤燕二

鶴澤清允

清姫 桐竹紋臣

船頭 吉田玉佳

囃子 望月太明蔵社中

伊賀越道中双六 沼津の段

本作は、『妹背山婦女庭訓』や『新版歌祭文』『奥州安達原』など名作を作り続けた近松半二の絶筆となる作品です。

舞台は東海道沼津の立場。呉服屋十兵衛は供を連れて西に向かっていきます。供の者を使い、遣つて、一人で荷を担ぐ十兵衛に声をかけたのは七十歳過ぎの荷担ぎ平作でした。十兵衛は老人の貧窮の訴えに同情し、荷を持たせますが、平作は怪我をしてしまいました。十兵衛が薬を塗つてやると、痛みは即座におさまる、そこへ通りかかった平作の娘・お米の勧めで、平作の家で休息することになります。

平作の怪我の話から、十兵衛が持つ薬は刀傷を治す特効薬と聞いたお米は、十兵衛に「一晩泊まるよう勧めます。世間話の内、平作には鎌倉へ養子に出した男子がおり、今では立派な商人になっている」と聞き、十兵衛は平作を父と確信します。しかし、平作はどんなに貧しくとも養子にやった息子に、実の親と名乗って援助を乞うのは人の道に外れると語ります。十兵衛は貧乏に苦しむ父と妹を何とか助けたいと思い、お米に求婚し、その支度金として金を渡そうとしましたが、お米には夫がおり、十兵衛は慌てて冗談と紛らわすのでした。

夜半、お米が一人思案にふけています。お米は元・傾城瀬川、夫の和田志津馬は円覚寺で負った傷が悪化し、養生しています。夫の傷を治したい一心でお米は十兵衛の持つ薬を盗もうとします。暗闇の中、お米は十兵衛に取り押さえられ、自らの身の上の一端を打ち明けます。すべてを察した十兵衛は石塔寄進という理由をつけて、平作に金を託し、出立します。

平作親子は金包みとともに置かれた葉の印籠を見つけ、お米はそれが夫の敵である沢井股五郎所持のものと気付きます。また、守り袋の書付には「幼名平三郎」とあり、十兵衛は平作の父の

息子であることがわかります。十兵衛が敵の行方を知っているはずと、急ぎ立つお米を押し止め、平作は十兵衛のあとを追って行き…。

仇討ち双方に関わる親子の偶然の再会と切なすぎる別れ。半二の生涯から三百年を迎える今年、満を持して博多のお客様に、文楽通からも愛される名作をお届けします。博多座では二十年ぶりの上演です。

日高川入相花王 渡し場の段

近松半二をはじめとする複数の作者によって執筆されたといわれる合作の一部で、江戸時代中期に成立しました。近松門左衛門の後継者として名高い近松半二は、心情描写と演出の妙で知られています。

『日高川入相花王』は、安珍清姫伝説をもとにした作品で、「渡し場の段」はその中でも特に有名な場面です。物語は、僧・安珍に思いを寄せる清姫が、安珍に裏切られたと知り、狂気と悲しみに突き動かされて追いかける場面を描いています。

和歌山の日高川の渡し場で、安珍がすでに船で川を渡つたことを知った清姫は、渡し守に無理を言つて自分も川を渡ろうとしますが拒まれます。怒りと執念に燃えた清姫は、ついには蛇の姿に変じて日高川を泳ぎ渡る——というクライマックスに至る劇的な展開です。

最大の見どころは、清姫の嫉妬と狂気が頂点に達し、蛇体に変化して川を渡る迫力のある場面です。この「変身」の演出は人形浄瑠璃ならではの妙技で、人形遣いの巧みな操作によって清姫が人間から蛇へと変貌する過程が、息をのむほど劇的に描かれます。また、渡し守である船頭との応酬や、清姫の感情が次第に高ぶっていく様子も、三味線の音色と太夫の語りによって一層深く心に迫ります。人間の情念の恐ろしさと哀しさが交錯する、文楽の醍醐味が凝縮された名場面です。

11/8(土) 11時30分開演／15時30分開演 11/9(日) 11時30分開演 | ご観劇料(税込)=A席7,500円／特B席6,000円／B席3,500円

9月27日(土)午前10時よりインターネット・電話予約開始

9月28日(日)午前10時より残席がある場合のみ博多座チケット売場でも販売いたします。※チケット売場販売用の別枠席はご準備いたしておりません。ご了承くださいませ。

●博多座オンラインチケット

●博多座電話予約センター

●博多座チケット売場

●お取り扱いプレイガイド

博多座 チケット

検索 (24時間受付)

☎092-263-5555 (10:00~17:00)

※電話番号はおかけ間違いのないようお願い申し上げます。

博多座 2 階広場の正面にご覧いただけます。(10:00~17:00)

チケットぴあ

O-TICKET

※店頭販売はございません。

グループ観劇のお問合せ

☎092-263-5880

(博多座セールスグループ 10:00~17:00)

※博多座では小学生未満のお子様のご入場はお断りしております。※出演者、演目、期間などの変更の場合は、悪しからずご了承ください。※車イスでのご観劇の方は段差がある場合がございますので、事前に博多座電話予約センターまでご相談ください。

地下鉄「中洲川端駅」⑦番出口直結
西鉄バス「川端町・博多座前」下車



博多座

F812-8615 福岡市博多区下川端町2-1 ☎092(263)5858

協力: ANA、JRA九州、Nishitetsu、福岡市地下鉄